

第56回 社会を明るくする運動

強調月間 7月1日～7月31日

重点目標 「地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」

標語 「ふれあいと対話が築く 明るい社会」

“社会を明るくする運動”はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

期間中は、広報車による市内巡回啓発、街頭啓発、「愛の善意」募金運動等の活動を行っています。

実施団体 “社会を明るくする運動”五條市実施委員会

問合先 社会福祉課福祉係 ④（内線299）

保護司による電話相談

更生保護「ひまわりテレフォン相談」

犯罪や非行のない明るい町を築くため、犯罪や非行にいたった人々の社会復帰を支援し、一人で悩む人や、家族を援助するための電話相談を行っています。

どんなささいな事でも結構です。一人で悩まないで、一度あなたもお電話ください。

ひまわりテレフォン相談

☎0742・20・6000

月曜日～土曜日、午後1時～4時（祝祭日を除く）

昔遊びをしながら児童との交流



五條地区更生保護女性会は、「社会を明るくする運動」月間にあわせてシンボルフラワーであるひまわりの種、アートフラワーで作ったひまわり、手作りのお手玉を持参して市内の保育所、幼稚園14か所を訪問しました。児童とともに語り合い、お手玉遊びをしながらふれあい交流を深め、子供の健やかな成長を見守り、楽しいひとときを過ごしました。市役所1階ロビーには「ひまわりの花のように明るい社会になってほしい」との願を指先に込めて製作したアートフラワーを展示しています。

このように、更生保護女性会とは明るい社会づくりのために行動するボランティア団体です。ぜひ御一緒に活動してみませんか。詳しい内容については次まで問い合わせてください。

問合先 社会福祉課福祉係 ④（内線209、299）

世界平和と核兵器廃絶を祈願 - 市内13か寺から「平和の鐘」 -

一瞬にして多くの生命を奪い、傷つけ、二つの都市を破壊した昭和20年8月6日、9日の広島、長崎への人類最初原爆投下から61年が過ぎ、戦争の悲惨さを知らない世代が多くなっています。

世界で唯一の被爆国として、私たちは、「核兵器の廃絶」と「戦争放棄」を声を大にして叫び、世界平和の先導者として活動しなければなりません。

広島、長崎の悲劇以来、今日まで核兵器は使用されていませんが、今後も使用されないとは限りません。特に、核兵器を新たに開発しようとしている国や、核の脅威を利用して自国の利益を守ろうとしている国など、世界中にはいまだに核の脅威が存在しています。

五條市では、昭和61年9月に核兵器廃絶平和都市を宣言し、「核兵器廃絶、平和宣言都市」の啓発塔を市役所前、中央公民館前、上野町の3か所に設置するとともに、「平和の鐘」について恒久平和を祈願しています。

今年も、広島に原爆が投下された8月6日（日）午前8時15分、長崎に原爆が投下された8月9日（水）午前11時2分、そして五條が空襲を受けた8月8日（火）の午前8時30分から1分間、原爆死没者のめい福と世界恒久平和を祈願して「平和の鐘」が市内の13か寺から鳴り響きます。

市民のみなさん、この趣旨をご理解のうえ、当日は1分間の黙とうをお願いします。

問合先 庶務課 ④（内線206）